



### ③保健衛生事業について

現在、環境対策には多額の経費がかかります。環境対策は地球温暖化にも密接に関係しており、国を挙げてリサイクルが推進されているところであり、そこで南島原市では循環型社会システム構築のために、地域内リサイクルを見直し、生ゴミの減量化を図るとともに、衛生経費の削減と生活環境の向上を推進してまいります。また、「南島原市役所地球温暖化防止対策実施計画」を策定し、市役所が率先して行うことにより、市民や事業者の理解と協力を受けながら、地球温暖化防止社会の推進に努めてまいります。

生活環境の整備は重要な施策としてとらえ、豊かな自然環境を守るとともに快適な生活環境をつくるため、下水道の整備は今や不可欠であり、本市では深江町、西有家町、口之津町の一部において利用され、南有馬町についても整備中であります。今年度は、今後の下水道の整備方針として「南島原市下水道基本構想」を策定するための予算を計上しております。また、浄化槽設置整備補助金交付事業を推進し、生活環境の向上を図ってまいります。

保健・医療施策につきましては、全ての市民が健康で心豊かな暮らしを実現するため、これまで各町で取

開催、適正農業規範の推進等の取り組みを支援してまいります。また、農業者団体等と共に協議会を設置し、農業用廃プラスチックの適正処理を支援してまいります。

地産地消及び食育を推進するため、地域で生産された米を学校給食に供給するシステムの構築に取り組みしてまいります。

イノシシによる農作物の被害を防止するため、その捕獲を行うとともに電気柵等の被害防止設備の整備を支援してまいります。

次に、農業の担い手対策に関しては、県や農業協同組合と協議会を設置し、関係機関の役割分担と連携の明確化を図り、効率的な担い手の支援体制を整備します。また、認定農業者協議会など、農業担い手団体の育成・支援を行ってまいります。

農業後継者、青年および女性農業者対策に関しては、4Hクラブ等の青年農業者の団体、農業を担う女性の団体及び生活研究グループの育成・支援を行います。また、農業従事者の確保・育成のため、就農希望者の修学等の支援を行ってまいります。

中山間地域の農地保全および耕作放棄の発生を防止し、農地の持つ多面的機能の確保を図るため、国の中山間地域等直接支払制度、特定農山村地域総合支援事業を活用し、農業者の集落活動を支援してまいります。

り組まれていた、乳幼児から高齢者までを対象にした施策を推進してまいります。

### ④農業関係事業について

農業経営の安定と生産の向上を図るために、優良農地の拡大を図り、土地利用型農業と施設利用型農業の集団化による生産体制の確立や高付加価値農業の確立を推進し、豊かな農村づくりのための地域農業の担い手育成、南島原ブランドの確立や循環型農業推進等に一体的に取り組む体制と対策が必要不可欠であることから、引き続き農業農村整備事業を推進してまいります。

#### 【18年度継続事業】

○県営経営体育成基盤整備事業（担



い手育成型）として  
深江町古江・田中地区、布津町坂下地区の2地区の区画整理

○県営畑地帯総合整備事業（担い手育成型）として  
有家町・布津町原尾地区、布津町布津北部地区・布津東部地区、有家町大苑地区、北有馬町原山地区、南有馬町清谷地区・白木野地区の7地区の区画整理

○県営農免農道整備事業として  
有家町有家4期地区の道路整備

○県営一般基幹農道整備事業として  
北有馬町高江2期地区の道路整備

以上の継続事業を計上しております。  
【18年度新規事業】

○団体営農業生産基盤整備事業（元気な地域づくり交付金事業）として  
北有馬町釘山地区の区画整理に着手するよう予算を計上しております。

【農業の振興】に関しましては  
農業者及び農業者団体が行う自主的な取り組みを支援してまいります。

農産物の生産、供給体制の確立を図るため「強い農業づくり交付金」『ながさき「食と農」支援事業』等の、県の助成制度を活用し、トマト、いちご、アスパラガス、飼料作物等の生産施設・設備及び集出荷貯蔵施設等の整備を支援してまいります。

食の安全と消費者の信頼を確保するため、環境保全型農業の研修会の

### ⑤水産業関係事業について

半島3市及び管内の8漁業協同組合で構成される、有明海水産振興協議会、同栽培漁業推進協議会などと連携し、本地域の特性に適したマダイ、ヒラメ、カサゴ、ガザミ、クルマエビなどの種苗の放流を行い、栽培漁業や資源管理型漁業を推進します。さらに、県から補助を受けて実施しているトラフグの放流に加え、他の有望魚種についても、放流を要請してまいります。（※南島原市「国見」）

平成16年度には、深江漁協においてクルマエビの養殖場が拡張され、安定生産を目標に取り組んでおります。島原半島南部漁協では「早崎瀬戸の急潮に採られたアラカブ」をブランド創出事業としてPR活動、試験出荷などを実施しております。南島原市においては、このような活動に対して、関係者と協議しながらブランド化に努めてまいります。

本年度の施設整備事業は、緊急度が高く、

国・県の補助がある継続事業を優先的に行ってまいります。

事業名と内容は次のとおりとなっております。

○集落道の整備を行い、



生活環境の向上と作業時間の短縮により快適で潤いのある漁村を目指す事業として

・南有馬漁業集落環境整備事業

○漁業者の生活基盤の強化及び漁場環境と水産資源の回復を図るため  
漁礁を沈設する事業として

・布津漁礁設置事業

○台風や波浪の越波による高潮被害から海岸背後地の集落や農地を守る事業として

・布津漁港海岸保全施設整備事業

・深江漁港海岸保全施設整備事業

○安全に係船できる物揚場、野積場の漁港施設整備を図り作業の迅速化により活魚流通への対応を確保し、所得の向上を図る事業として

・深江漁港地域水産物供給基盤整備事業

以上の事業を水産関係では計画し、予算計上いたしております。